

Q

なぜ寒い日に水栓が壊れるの？
 どうすれば防げるの？

A

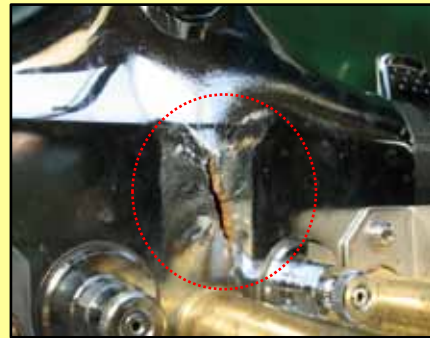
一般に水が凍ると、約9%体積が増えることはよく知られています。寒さで水栓中の水が凍った場合は、その体積膨張で大きな内圧が加わり、部品・本体破損が発生します。冷え込みが厳しい時は、室温が0℃以下にならないように、下記の凍結予防を行ってください。

- ・窓は開けたままにしない。
- ・浴室の換気扇は点けたままにしない。
- ・浴槽の残り湯は抜かない。
- ・水を少量出しておく。(1分間に牛乳ビン1本程度)
- ・屋外の水栓は保温効果のあるものを巻いておく。

凍結前



凍結後



豆知識

- ・気温がマイナス3～4度になると、水道管の凍結が予想されます。
- ・万一、水栓が凍結した場合はぬるま湯をかけ、ゆっくり解凍してください。
- ・水栓が破損し水漏れする場合は、元栓で水を止めてください。
- ・水栓の凍結破損は、保証対象外で有償修理となります。